

浜坂町久谷で11月に イシガケチョウを採集

山本 一幸

但馬地方におけるイシガケチョウの採集記録は、ここ数年、浜坂町（木下・他、1996）、温泉町（永幡、1992）、関宮町（植田、1998）などでみうけられ、定着している可能性も示唆されている。筆者は、1997年11月末、浜坂町久谷で本種を採集する機会を得た。筆者の知る記録のうち一番遅いものであり、ここにそのデータを報告する。

なお、標本の管理や文献の紹介などでご高配下さった谷角素彦氏に、この場を借りてお礼申し上げる。

1 ♀, 兵庫県美方郡浜坂町久谷字袋谷, 1997-XI-29,
山本一幸採集

山陰道路株式会社久谷合材所の東側敷地に、生け垣として植えられているカイヅカイブキ（樹高約2m）の枝の間（地表から高さ約70cm）にもぐりこんでいるのを発見した。素手で簡単に捕らえることができ、すでにその時点で後翅の端が破損しており、弱っていた。

参考文献

木下賢司・近藤伸一・大東康人・永幡嘉之（1996）但馬地方の蝶類目録Ⅱ, IRATSUME20:66-86.
永幡嘉之（1993）但馬の蝶10題, IRATSUME17:1-7.
植田 悟（1998）兵庫県関宮町でイシガケチョウを採集, 蝶研フィールド13(2):28-29.

浜坂町でクロコノマチョウを採集

谷角 素彦・岩見 裕介

クロコノマチョウ *Melanitis phedima* は、暖地に起源をもち、分布を北上させている種として、ナガサキアゲハやイシガケチョウなどとともに、よく話題にのぼる。兵庫県南部では、近年になって記録が増加しており、発生も確認されている（法西、1996）が、但馬地方では採集例が目立つようになってきたものの、分布の実態はよくわかっていない。筆者らは盆休みに浜坂町へ帰省した際、本種を同町で採集したので報告する。

1 ♂, 兵庫県美方郡浜坂町浜坂(宇都野神社), 1997-VIII-15, 筆者ら採集

宇都野神社の境内を歩いているとき、日陰になった藪から飛び出した個体を採集した。浜坂町では三尾で、永幡嘉之氏による採集例があり（広畑、1993）、今回の記録が2例目になると思われる。

また、このとき、やはり分布を北進させているラムイールカミキリを、付近のカラムシで確認している。久々に訪れた故郷の採集地で、以前は見られなかった南方系の昆虫たちに出会い、複雑な思いを抱いた。

参考文献

広畑政己（1993）兵庫県におけるクロコノマチョウの分布の変遷, IRATSUME17: 8-14.
法西 浩（1998）兵庫県のクロコノマチョウ, 1996年の記録, 蝶研フィールド13(1): 27-30.

連絡誌の情報を募集しています

連絡誌“混蟲ずかん”は、年に数回発行されています。

“混蟲ずかん”では、誌面の充実を図るため、会員の皆さんから情報を募集しています。

メモ書き程度の通信でOKです。内容は、身近な虫の情報（モンシロチョウの初見日、セミの初鳴き日・終鳴き日など）、

採集情報、近況、意見、新刊紹介、新聞記事の切り抜きなど、何でも結構です。

随時、受け付けています。

とくに、但馬地方の昆虫に関する情報を求めています。

送付先・連絡先は、事務局（〒669-6801 美方郡温泉町井土932-10、黒井和之）まで。